

収支予算

(単位:円)

収入	費目	金額	備考
	助成金申請額	2,000,000	
	自己負担額	1,000,000	
	事業費総額	3,000,000	←自動で計算されます
支出	費目	金額	積算根拠
	人件費	900,000	2015年度の事業成果により圧倒的に問い合わせが増える、予定通り、事務局を研究会会長の篠永正道所属の大学病院の院内に設置、その人件費 時給/900円 月/75000円)
	システム運営委託費	400,000	HP及びレンタルサーバーの管理 分析 作成 取材 編集 管理 解析 レンタルサーバー ドメイン バッククラウド含め
	宿泊交通費	500,000	DBサイトに関する 行政や全ての協力機関との交渉 など
	翻訳委託費	400,000	当サイトの翻訳費
	会議費	150,000	会場費 2万5千円×6日
	製本印刷費	100,000	DMの印刷費
	通信運搬費	150,000	DMの発送費 及び 通信費
	事業管理費	400,000	横浜事務所内 人件費 時給/900円 月/2万5000円 その他事業を実施する上で必要な事務局人件費・諸経費 基本的にデータの管理と研究会(静岡病院内)事務局の補助人員
	事業費総額	3,000,000	合計額OK

事業スケジュール					
No.	年/月	日	場所	内容	備考
1	2016年3月	随時	東京	4月から開始される予定となっている保険適用後の対策 ホームページの見直しなど 定期的に本事業進行にあわせ会議を行う	定期会合
2	2016年3月		東京	プレゼンテーションの実施 「脳脊髄液減少症研究会総会」にての本事業の経過、今後の予定を発表 医師の協力を仰ぐ	宿泊必要
3	2016年4～2017年3月		27都道府県 各行政	昨年一期で連携とれなかった都道府県と連携(知事・教育長 要望など) 27都道府県	宿泊必要
4	2016年3月		国際医療福祉大学熱海病院内	脳脊髄液減少症研究会事務局設置にともない 事務員パート 篠永会長と会議	パートは最低限の英語が理解できる方を募集
5	2016/4月/1～	随時	横浜事務所内	一期後期から開始するデータの解析と登録を引き続き行う 翻訳業もDM発送も同時に行う それらを世界にむけて発信していく	随時
6	2016/4月/～	随時	高知大学 都内	データ分析において高知大学データ解析課と連携し定期的に会議(臨床疫学)	脳脊髄液減少症データ解析については高知大学と共同研究になる
7	2016/3月		厚労省記者クラブ	本事業の内容を説明しマスメディアを通し啓発する	記者会見
8					
9					
10					